

単元名

校区ふしぎ発見 ～「校区みりよく発信」へ～（3・8交流）

(男子11名 女子16名 計27名)

学園で育成を目指す資質・能力

知識・技能, 思考力, 表現力, 主体性

1 単元について

【単元観】

本単元は、小学校3年生の「わたしの夢ふれあいたんけん（生き方学習）」と関連付け、異学年交流と地域や学校の特色に応じた課題の学習として行われる「校区ふしぎ発見」である。この単元で学習したことを受けて、それぞれの学年で「わたしのゆめさがし」「知ろう！学ぼう！僕らの未来（職場体験学習）」の生き方学習へとつなげていく。8年生は、自分たちが小学校3年生の時に、同じ単元学習をした体験を踏まえ、改めて私たちの住む地域の現状を捉え直し、3年生の学習を支援しながら、自分たちが暮らす地域の魅力を再発見することができる。また、その魅力の本質について考えたことやまとめたことを目的や課題に応じて効果的に発信していく活動を通して、地域の良さや課題を自分事として受け止め、地域に貢献しながら生きる姿勢と実行力、課題に対して協働的に取り組み解決していく力を育むこと目的として設定した。

◎呉中央学園が取り組む「考える技法（後期）」を活用し、課題解決に向けて収集した情報を「抽象化」したり、「構造化」したりして解決策を考えることで学園を目指す資質・能力を育成することができる。

【生徒観】

学園アンケートによると、「総合的な学習の時間」において「課題解決に向けて集めた情報を整理したりまとめたりして解決策を考えている。」項目における肯定的評価が90.9%となっており、学園全体の88.0%を上回っている。しかし、そのうち「そう思う」と考える積極的な回答は39.0%（学園全体53.8%）となっている。また、「課題解決に向けて自分で目標を見だし、協働して取り組み、様々な場面で実践している」項目における肯定的評価は83.1%（学園全体91.0%）であり、そのうち「そう思う」と考える積極的な評価は24.7%（学園全体61.4%）となっている。自己評価は高いが、実態との間には解離があることを生徒自身も感じており、自分に自信がない生徒も多く、他の学年とは回答の質に大きな差がある。

これまで、小学校での「夢チャレンジ（生き方学習）」の継続的な取組と7年次の「夢発見」学習や「立志式」に向けての活動を通して、多様性・連携性・責任性の力を高めながら思考力を高めるよう取り組んできたが、依然として「整理・分析しまとめること」や「協働して取り組むこと」に課題がある。

2 研究主題に迫る手立て【指導観】

(1) 課題設定の工夫

- 「総合的な学習の時間の学習」を始めるにあたって、今年度の「総合的な学習の時間の学習」に関するガイダンスを行い、学習の見通しをもたせる。また、3年生に校区のよさ「伝える（紹介する）」ことを通して自らの学びとし、学んだことをさらに地域に「伝える（発信）」することで深い学びのある学習とする。
- 単元の導入で、「3年生の感想（実は自分たちが3年生の時に書いたもの）」からこれまでの「校区ふしぎ発見」の良さや課題を思考ツール「Yチャート」を活用して見つけ、本単元の課題設定を生徒自身への「問い」として捉えさせる。

(2) 思考過程の工夫

- 効率的・効果的な手段で集めた情報などに、より深い分析、確かな根拠付けができるよう、個人の考えを集団としての考えにまとめる場面で「考えるための技法」を活用し、対象を抽象化したり、構造化したりして整理することができるようにする。

(3) 思考の記述や振り返りの工夫

- 学習活動と振り返りを1枚の用紙で行い、学習内容を確認し、他者の意見を取り入れたり関連付けたりしながら自己変容したことを言語化・視覚化して確認できるようにする。

3 単元で育成する資質・能力

知識・技能	思考力	表現力	主体性
<ul style="list-style-type: none"> ○安全面や健康面で考慮すべきことを理解し、様々な場面で活用することができる知識や技能を身に付けることができる。 ○地域の自然や文化、産業等を理解し、様々な場面で知識や技能を探究の過程に応じて活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○目的や課題に応じた活動ができるように情報を収集するなどして、計画を構想することができる。 ○自分たちが表現したいことが相手にとって伝わりやすいような解決策を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えや集団としての考えを、状況に応じて適切に表現したり、伝え合ったりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○活動にあたって、自分の目標を見付け、協働して取り組み、様々な場面で実践することができる。
知識・技能	思考力・判断力・表現力		学びに向かう力、人間性等


4 単元の評価規準

知識・技能	思考力	表現力	主体性
<ul style="list-style-type: none"> ○校区の魅力や地域の人々の思いに気付き、集めた情報や身に付けた知識・技能を探究の過程に応じて活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題解決のために必要な情報を集め、活動計画にまとめている。 ○自分の思いや考えを相手や目的にあった方法でまとめ、分かりやすく伝える工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○他者との多様な交流を通して、深めた自分の思いや考えを発展させ、根拠を示しながら表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題の解決に向けて、具体的な目標を設定し、主体的・協働的に取り組もうとしている。 ○校区の魅力や地域の人々の思いを理解し、地域のために自分ができることを考え行動しようとしている。

5 指導計画（全20時間）

次	時	学習内容	評 価				評 価 規 準	評価方法
			知	思	表	主		
一	3	課題の設定（3） <ul style="list-style-type: none"> ○3年生の感想から、これまでの「校区ふしぎ発見」の良さや課題を「Yチャート」で見つめ直す。（2） 				○	<ul style="list-style-type: none"> ・「校区ふしぎ発見」の課題を自分自身の問題点としてとらえ、具体的な目標を設定し、主体的・協働的に取り組もうとしている。 	ワークシート
		課題：8年生が主体的に活動することで校区の「みりよく」を再発見し、自分たちが暮らす地域の「みりよく」を地域の人たちに発信しよう。						<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決のために必要な情報を集め、活動計画にまとめている。
		<ul style="list-style-type: none"> ○3年生からの要望に基づいて、既習事項や興味・関心等の必要な情報を収集するための準備をする。（1） 		○				

二	1	<p>情報の収集（１）</p> <p>○実行委員を中心に、３年生との「よろしくの会」を開催し、自己紹介やアンケートを実施するなど、必要な情報を収集する。（１）</p>				○	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決に向けて、具体的な目標を設定し、主体的・協働的に取り組もうとしている。 	行動観察
	4	<p>整理・分析（４）</p> <p>○アンケートの分析をし、「歴史」「文化」「自然」「観光」などで８年生としての「校区のみりよく発見」ができるようなコースの案を構想する。</p> <p>調べ学習で案内する場所や周辺施設の情報を集める。（２）</p> <p>○テーマに沿った「計画書」の作成をする。（２）</p> <p>①フィッシュボーンを使って構想案をつくる。</p> <p>②班ごとの課題設定を行う。</p>	○				<ul style="list-style-type: none"> ・３年生の既習事項と自分たちの知識のずれを調整しながら、Ｙチャートで分析した課題をもとにテーマに沿ったコースを検討することができる。 ・テーマについて必要なことを思考ツールで整理し、各項目の担当者を決めながら「行動計画書」を作成することができる。 	ワークシート
	4	<p>まとめ・創造・表現（４）</p> <p>○「校区のみりよく発見」活動。実行委員を中心に「始まりの会」「終わりの会」を行い、各班での確認、振り返りを行う。（４）</p>				○	<ul style="list-style-type: none"> ・安全を確保しながら、準備してきた「みりよく発見」の学習方法を適切に実施し、状況に応じて適切に表現したり、伝え合ったりすることができる。 	行動観察 ワークシート

三	1	<p>新たな課題の設定（１）</p> <p>○「校区みりよく発見」の振り返りを行う。</p> <p>KJ法を使って振り返りを行い、活動の成果をまとめるとともに「校区みりよく発信」に向けた新たな課題に気付く。（１）</p>				<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「校区みりよく発信」に向けた新たな課題に気づき、課題の解決に向けて、主体的・協働的に取り組もうとしている。 	ワークシート
四	2	<p>情報の収集（２）</p> <p>○「校区みりよく発見」を終えて、改めて「あなたにとって呉の魅力とは」何かを見つめ直してみる。（１）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の人にも聞いてみよう。（アンケート） <p>○「校区」から離れ、「呉のみりよく」について調べてみることで、自分たちが考える魅力と地域や他の人々が考える魅力に違いがあることに気付く。（１）</p> <p>【本時 15 / 20】</p>	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・「みりよく発見」学習で地域の人にインタビューしたり、スタンプラリーなどで集めた情報をもとに「みりよく発信」学習の過程に応じて活用している。 ・課題解決のために必要な情報を集め、「みりよく」を多面的、多角的に捉えることで、伝える対象や目的を明らかにし、分かりやすく効果的に伝える工夫をしている。 	行動観察 ワークシート
	3	<p>整理・分析（３）</p> <p>○自分たちの「みりよく発信」の根拠（対象やねらい）を明らかにする。（１）</p> <p>WHYツリーで分析する。</p> <p></p> <p>○「誰に」「何を」「どうやって」発信するのか、目的や課題に沿った効果的な伝え方を考え、協働して取り組む。（２）</p> <p>ポスターや動画などの表現方法をどのような場所で誰</p>	○			<ul style="list-style-type: none"> ・自分が伝えたい思いや考えの根拠を明らかにし、相手にとって分かりやすく伝える方法を考え、工夫している。 ・「呉のみりよく発信」の課題について、具体的な計画を立てて、主体的・協働的に取り組もうとしている。 	

		に対して表現することが最も効果的になるか考える。					
2		<p>まとめ・創造・表現(2)</p> <p>○報告会を行い、学習した成果を8年生の立場で確認する。(1)</p> <p>○「呉のみりよく発信」それぞれの目的や課題に応じた方法で表現する。(1)</p> <p>前期棟，中期棟，後期棟に掲示する。昼食時に校内放送を行う。市役所ロビーに掲示させてもらうなど，様々な方法を考えて「みりよく」を発信することができる。</p>			○	<p>・伝えたいことを効果的に表現し，学習の振り返りをしている。</p>	行動観察
					○	<p>・職場体験での学びや中国新聞出前講座等で学習した伝え方等を生かし，自分や集団の意見を発展させ，まとめたことを目的や課題に応じた方法で，伝えたいことを効果的に表現している。</p>	ワークシート

6 本時の展開

(1) 育成を目指す資質・能力【思考力】

- ・目的や課題に応じた活動できるように情報を収集するなどして、計画を構想することができる。
- ・自分たちが表現したいことが相手にとって伝わりやすいような解決策を考えることができる。

(2) 学習展開

	学習活動	・予想される児童生徒の反応（行動・発言内容等）	○指導上の留意点	※評価規準（評価方法）
課題設定	1 課題意識をもつ。		○前時のアンケート「あなたにとって呉の魅力とは」について振り返り、本時に対する課題意識を確認する。	
	2 本時のめあてを確認する。			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> めあて：「呉のみりよく」は何かを効果的に伝えるには？ </div>				
情報の収集	3 自分たちの周りの人への聞き取り調査をする。	・自分の知らないところや意外なところに魅力がある。	○自分たちの考える魅力と聞き取り調査結果にある違い（差）を確認する。	
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> （視点）・誰にとっての魅力なのか。 ・どういう所に魅力を感じているのか。 ・その理由は何か。 </div>	
整理・分析	4 視点を整理し、まとめる。	・魅力にはいろいろな捉え方があり、対象となる人や物によってその考え方には差がある。	○視点を整理することで、「だれに」「なにを」「どのように」発信していくのが効果的であるかということを確認する。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> 思考過程の工夫【抽象化する・構造化する】 自分たちが発信しようとしている「呉のみりよく」についての多面的、多角的にまとめていく。 </div>			
まとめ・振り返り	5 本時のまとめを行う。			※課題解決のために必要な情報を集め、「みりよく」を多面的、多角的に捉えることで、伝える対象や目的を明らかにし、分かりやすく効果的に伝える工夫をしている。
	6 本時を振り返り、次時につなげる。			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> 生徒のまとめ例 「みりよくあるまち」とはどのようなものか、その「みりよく」は「どんな人」にとってのものなのかを自分なりに整理して考えることができた。 </div>				

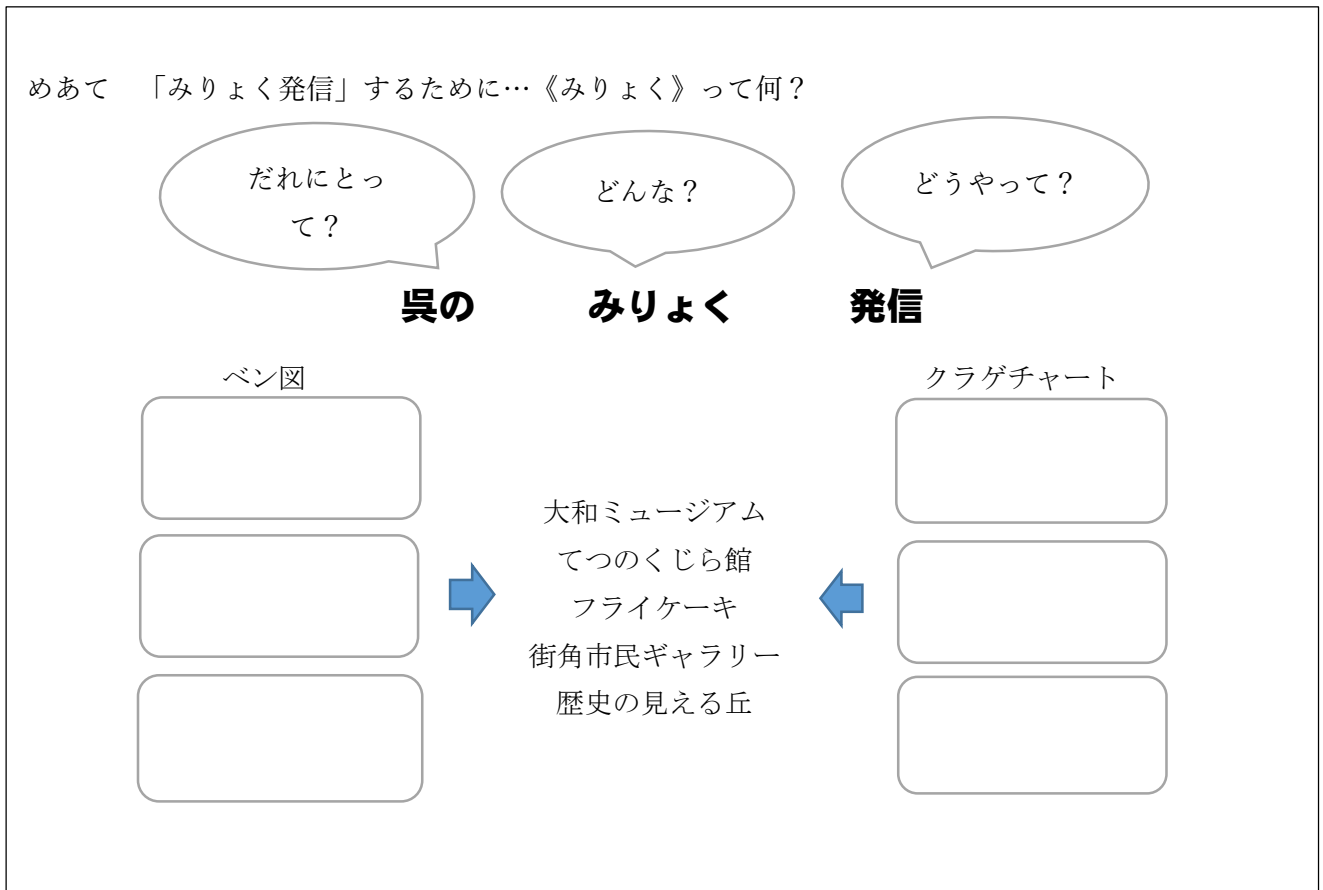
思考過程の工夫【抽象化する・構造化する】

自分たちが発信しようとしている「呉のみりよく」についての多面的、多角的にまとめていく。

◎自分たちが発信しようとしている「みりよく」は、対象とする人や行動目的によって違いがあり、その違いに応じた「みりよく発信」の必要性が分かった。

生徒のまとめ例
 「みりよくあるまち」とはどのようなものか、その「みりよく」は「どんな人」にとってのものなのかを自分なりに整理して考えることができた。

7 板書計画



思考過程の工夫【抽象化する・構造化する】

ベン図を使い、その「みりよく」は「どんな人」にとってのものなのかをまとめる。

クラゲチャートを使い「みりよくあるまち」とはどのようなものかまとめる。

自分たちが発信しようとしている「呉のみりよく」についての様々な考え方を一つの考え方にまとめていく。

8 成果と課題

単元の導入で学習の見通しをもたせ、課題設定を生徒自身への問いとして捉えさせることで、生徒自らが自分の目標を設定し、解決に向けて主体的に学習を進めることができた。また、「呉のみりよく」について、「考えるための技法」を活用し、グループごとに「みりよく」は「どんな人」にとってのものなのか、「みりよくあるまち」とはどのようなものなのか、ベン図やクラゲチャート等の思考ツールを使い、多面的・多角的に捉えることで思考を深めることができた。ワークシートにはグループごとの多様な考えがまとめられ、よりよい呉のみりよく発信に向けて協働して取り組むことができた。

一方で、どのようにみりよくを発信することができるか、グループで出し合った考えを抽象化したリ構造化したりすることに難しさを感じている生徒も見られた。今後も考えるための技法を活用し、思考を深めながら学習に取り組めるように工夫していく。